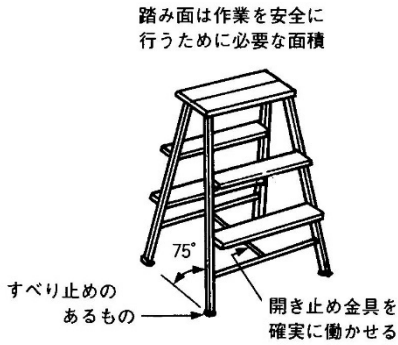
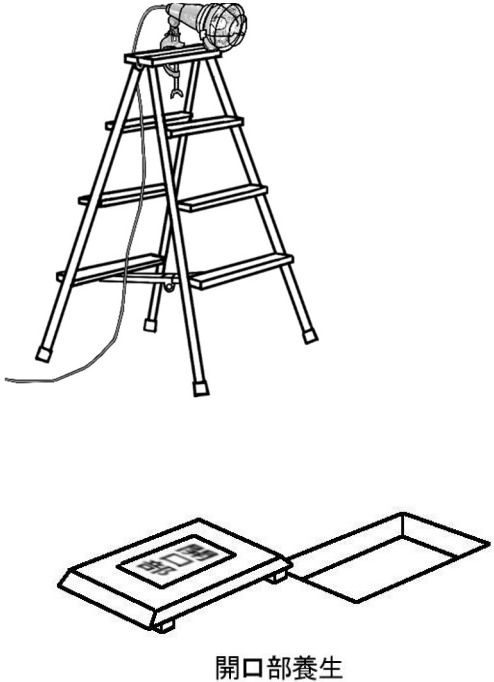
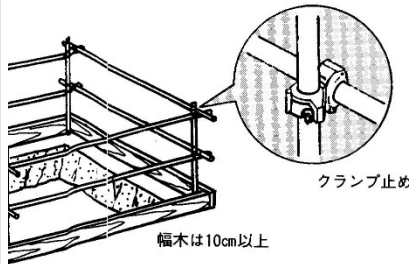
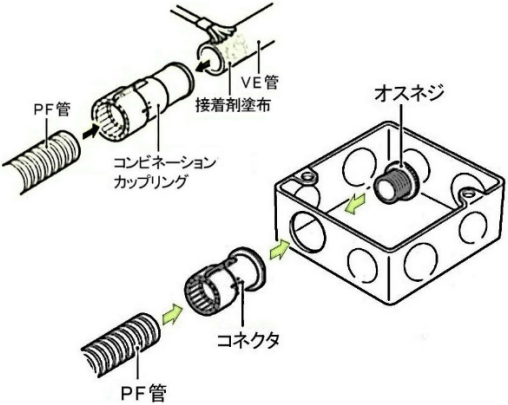
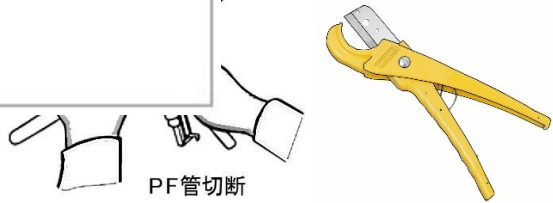


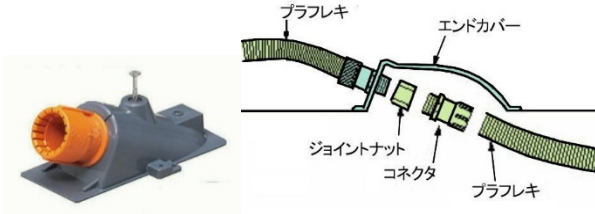
作 業 手 順 書		作 業 名	PF 管・CD 管（合成樹脂可とう電線管）作業		必要な 資格等	・電気工事士 ・職長
工 種	電気設備工事	使用機械				
会 社 名	有限会社 ○○電設	使用工具	ナイフ、サインペン、フレキ用カッター、ドライバ、ペンチ、プライヤー 結束ハッカー、スケール、結束線、バインド線			
職 長 名	山田 太郎	保 護 具	保護帽、安全帯、安全靴、手袋、保護めがね、防塵マスク			
作業人員	3 名	使用材料	PF 管、CD 管、コンビネーションカップ、コネクタ、エンドカバー、呼び線（プラス チック製）、絶縁電線、滑剤（滑石・雲母粉）、吊りボルト、アンカー			

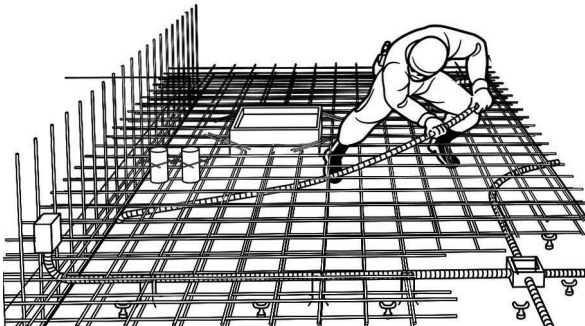
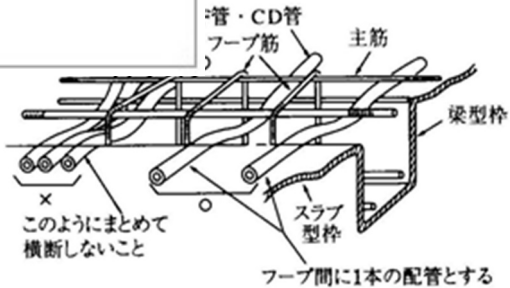
作業 区分	作 業 の 手 順	予 測 さ れ る 危 険	重 篤 度	頻 度	見 積 り	優 先 度	防 止 対 策	実施者	重 篤 度	頻 度	見 積 り	優 先 度	備 考
準 備	1. 作業前のミーティング ・新規入場者のチェックを行う。						◇作業員の年齢・経験・健康状態を確認して、適正配置を行う。	職 長					
	2. 服装、工具の点検 ・作業前に正しい点検を行う。 ・保護帽のアゴ紐を締め、手袋を正しく着用する。						ケーブルにキंकがないこと。						
作 業	3. 図面仕様の確認 ・施工図面の検討をする。 ・作業分担を決め作業方法、手順を全員で確認する。						◇作業責任者は、作業員を配置し、作業の方法、順序を決定し、作業を直接指揮する。	作業責任者					コードリール（電工ドラム）
	4. 機械工具の点検 ・電動工具の使用前点検を行う。	・電動工具による感電の危険 ・カッター、と石類による破損の危険	6	2	8	3	◇電工ドラムは、3P（2PE 付き）の漏電遮断器付きを使用する。 ◇漏電遮断器の作動テストを行う。 ◇アースを確実にする。 ◇不良工具の取り替え。 ◇絶縁抵抗を測定する。	作業者	6	1	7	2	

作業区分	作業の手順	予測される危険	重篤度	頻度	見積り	優先度	防止対策	実施者	重篤度	頻度	見積り	優先度	備考
標準	5. 仮設施設の点検 (1) 脚立、可搬式作業台 ・脚立、可搬式作業台等の点検をする。 ・設置場所の安全を確保する	・踏みはずし、傾き等による墜落の危険 	10	2	12	4	◇強度を確認する。 ◇設置場所の段差を水平にする。 ◇昇降時には、手に物を持たない。 ◇資材等の揚げ卸しは、通い綱、通い袋を使用する。 ◇損傷または破損しているものを使用しない。 ◇部材の不良品は、取り替える。	職 長	10	1	11	4	不安定な場所で使用しない 
備作業	6. 作業現場の確認 ・必要な工具、保 所定の位置に配 ・暗部、開口部等 ・他職種との混在 ・資材等の搬入路 全を確認する。	https://www.sekouya.com 											 ※手すりなど墜落防護措置が困難な場合は、安全帯が使用できる親綱等の支持物を設ける。

作業区分	作業の手順	予想される災害の要因	重篤度	可能性	見積り	優先度	危険性・有害性の防止対策	実施者	重篤度	可能性	見積り	優先度	備考
本	1) 作業用足場等仮設設備の確認		6	2	8	3			6	1	7	2	
	・作業床の設置状況を確認する。 ・床、壁、天井等の突起物に対する安全を確かめる。	・作業床端からの墜落の危険					・作業床端には、手すりを設置する。	職 長					
	・移動足場、脚立、受台足場を正しく設置する。	・転倒の危険					・段差ある場所は水平を保つようにする。	作業者					
	・外部足場を使用しての作業には足場板を使用しての安全を確認する。	・墜落の危険					・安全帯を使用する。	作業者					
	・工具、資材の落下防止対策を確かめる。 ・高所作業時の足場周辺の安全を確認する。	・飛来落下の危険					・工具等は道具袋に入れる。 ・作業床には不要な工具、資材は置かない。 ・落下物防止ネットを設置する。	作業者					
作	2) 基本作業												 チェーンリール
	①管の選定 ・管の太さは入組の使用する。 ・管の端末口は、滑らないように滑らかにする。 ・付属品は、管おに合うように選択して使用する。												
	②PF 管、CD 管の切断 ・サインペンなどで切断箇所にスミをする ・ナイフの刃を直角に当てる ・管をまわしながら切断する	・カッターによる手の切り傷 ・手指の刺傷、裂傷の危険	3	2	5	2	h. 切断面を管軸に直角になるよう気を付ける b. 左手でしっかりと管を握る ・保護手袋を使用する	作業者					
	③管相互の接続 ・管を準備する ・管の切り口が管軸に対し直角か確認する ・接続する両管端の外面のしるしの所まで手早く接着剤を塗る ・カップリングに管を差込む	・指を挟む	3	2	5	2	・保護手袋を使用する	作業者	3	1	4	1	
	④管とボックスの接続 ・PF 管～ボックスの接続 ・CD 管～ボックスの接続	・プライヤーで手を挟む	1	4	5	2	・よく見て慎重におこなう	作業者	1	2	3	1	



作業区分	作業の手順	予想される災害の要因	重篤度	可能性	見積り	優先度	危険性・有害性の防止対策	実施者	重篤度	可能性	見積り	優先度	備考
本作業	⑤エンドカバーの取付け ・PF管～エンドカバー ・CD管～エンドカバー	・ハンマーで指をたたく	1	4	5	2	・保護手袋を使用する	作業者	1	2	3	1	
	3) 壁の配管												
	①ボックスの取付け ・ボックス位置の墨出し ・ボックスの取付けを行う ・PF・CD管の加工を行う	・飛来落下 ・脚立から転落 ・作業台から転落 ・昇降時に転落	6	4	10	4	・各自の作業場所の周囲の状況を確認める。 ・身を乗り出して作業しない ・反動のある作業手順書をしない ・開き止めを確実にセットする	作業者	6	2	8	3	
	②配管する ・ダブル配筋の場を通して配管する ・管をボックスに固定する												

作業区分	作 業 の 手 順	予想される災害の要因	重篤度	可能性	見積り	優先度	危険性・有害性の防止対策	実施者	重篤度	可能性	見積り	優先度	備 考
本 作 業	4) スラブの配管												
	①配管及びボックス取付け ・ボックス位置の墨出し ・材料運搬 ・ボックスの取付けを行う ・PF・CD 管の加工を行う	・鉄筋につまずき転倒 ・材料運搬中転倒 ・ハンマーによる打撲	3	2	5	2	・足元を確認しながら運搬する ・声を掛け合う ・手元を確かめながらおこなう	作業者	3	1	4	1	
	②配管する ・上筋と下筋の間を通して配管する ・配管が 2 本以上並ぶ場合は、管相互の間隔を 30mm 以上離す、 ・管の交叉はルート変更などで少なくする ・管をボックスに固定する	・腰を痛める ・開口より転落 ・吊り荷の落下	6	2	8	3	・スラブの歩行は道板を敷く等転倒しないよう注意する。 ・重いものは二人で持つ ・鉄筋、鉄線等の突起物には注意する。 ・開口部の表示と養生を徹底する	作業者	6	1	7	2	
	③支持間隔 ・コンクリート打 結束線にて十分に	https://www.sekouya.com											
業	④梁横断 ・鉄筋加工と、仮材 する時、管と管の間を 30mm 以上離す。	・鉄筋に手を挟む ・つまずき転倒					・暗い場所での作業には照度を増す。 ・スラブにメッシュロードを敷く						
	⑤配管ルートは、施工図通りのルートでおこなう						・配管の集中を避けるため、配管のルートを変更した場合などは、施工図に変更ルートを書込み修正しておく。	作業者					

作業区分	作 業 の 手 順	予想される災害の要因	重篤度	可能性	見積り	優先度	危険性・有害性の防止対策	実施者	重篤度	可能性	見積り	優先度	備 考
本 <													

区分	作 業 の 手 順	予 測 さ れ る 危 険	重 篤 度	頻 度	見 積 り	優 先 度	防 止 対 策	実施者	重 篤 度	頻 度	見 積 り	優 先 度	備 考
後 片 付 け	1) 作業状況確認 ①設計書記載のとおり作業が行われたか確認する。 ②工具、材料等の忘れものはないかを確認する。	・ 墜落の危険	6	2	8	3	・ 安全帯、保護帽の使用。	作業者	6	2	8	3	 整理整頓
	2) 使用機械等の片付け ①機械工具等を清掃し、所定の場所に返納する。 ②足場等（脚立、可搬式作業台等）は、清掃し、所定場所に片付ける。	・ 感電の危険 ・ 墜落の危険 ・ つまづき転倒	6	4	10	4	・ 安全帯を使用する。	作業者	6	2	8	3	
	3) 工具、保護具、防具、材料等の確認 ①工具、保護具、 る。 ②材料の使用状況		6	2	8	3		作業者	6	2	8	3	
	4) 現場の整理整 ①現場をよく清掃する。 ②関係者に作業終了の連絡、挨拶をする。	・ つまづき					・ 足元に注意する。						